

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 3月 4日

公表:令和4年 3月 22日

事業所名:児童デイサービス・アニマートさのstudy

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0		学習するスペースと交流タイムで自由に遊ぶスペースを分けて学習しているお子様が集中できるように、パーテーションを使って対応しております。
	2	職員の配置数は適切である	7	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0		職員全員が定期的に支援会議に参加し、内容の検討や改善を行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		今後も、保護者様のご意見やいただいたアンケート結果に真摯に向き合い、業務改善を行ってまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		今年度は、2名が研修会へ参加いたしました。今後も全職員が定期的に研修会へ参加出来るようにしていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0		制作・運動・ソーシャルスキルトレーニング・MIMアセスメント・聞くトレーニングをお子様の状態にあわせめあてを明確にし、活動会議で立案しております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0		学習では、語彙を増やすことを目的に、絵カードやなど、5H5Wを意識した文作りを取り入れたり、板書や音読がスムーズになるように眼球運動を取り入れたビジョントレーニングを行うなど、お子様の学習が幅広く行われるようにしております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0		土曜日や長期休暇中は、戸外遊びを取り入れております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	回覧板や連絡ノートを活用し、職員間の情報の共有化を図っている。	毎日、打ち合わせを行い送迎の確認や活動の担当など、その日の役割分担を確認し取り組んでいます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		退勤時間が異なるため、その日のうちにすべての振り返りは難しいが、回覧ノートや翌日の打ち合わせに話し合い、情報共有を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		全職員に伝わるように、連絡・報告を行いお子様に寄り添った支援を心がけています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7	0		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2		相談支援事業所や児童発達支援事業所とも情報共有をし、スムーズに放課後等デイサービスをご利用できるように努めて参ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	4		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		管理者・児発管が契約時に保護者様にわかりやすく丁寧な説明を心がけて参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0		Studyでは、保護者様が子育てに関する悩み等が相談できる場として事業所内相談事業も随時行っております。ご希望の場合は、管理者にお声掛けください。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0		毎月、活動予定表を発行しています。また随時、Study便りを発行しています。
	35	個人情報に十分注意している	7	0		全職員に対して、秘密保持の遵守の徹底を図っていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0		職員間では感染症や避難場所等について共有しております。今後は、保護者様にもわかりやすいマニュアル作成を検討して参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0		年間2回、地震時の避難経路・避難場所の確認を行っております。また、火災時の避難訓練では、消防署からの指導のもとに、実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0		虐待防止については、定期的に全職員で研修を行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0		身体拘束に当たっては緊急やむを得ない場合を除き禁止されていることや身体拘束を行わざるを得ない事態を想定した対応について職員間で共通理解をしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0		年に1回は、食物アレルギー調査を実施します。アレルギーがあるお子様には、おやつを持参していただき管理して提供しております。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	支援活動中・送迎時・保護者対応時等ヒヤリやハットした事例を伝え合う。	日々、職員間でヒヤリハットがある事例は報告書に記載し、全職員で周知しております。	